



輝け、
カガクで。

Activate Your Life

決算補足説明資料

2025年12月期 第2四半期(中間期)

 日華化学株式会社
東証スタンダード:4463 | 2025年7月31日

目次

- 01** 2025年12月期第2四半期(中間期) 決算概要
- 02** 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について(アップデート)
- 03** 2025年12月期通期 業績・配当予想
- 04** Appendix

01

2025年12月期 第2四半期(中間期)

決算概要

売上高・営業利益ともに上期として過去最高 経常利益・当期利益は為替の影響を受け減益

化学品事業

増収・増益

売上高、セグメント利益額・率ともに過去最高

- EHD※関連製品売上高比率増による利益率向上
- 主力の繊維化学品／中国中心に大手加工場高稼働も足元トランプ関税の影響で稼働減速傾向
- 半導体加工用クーラント剤回復途上

※ E(環境/Environment)、H(健康・衛生/Health)、D(デジタル、先端材料/Digital)向けの高付加価値製品

化粧品事業

増収・増益

売上高は過去最高

- ODM事業好調
- デミ 新商品、注力商品販売堅調
- デミコリア ヘアケア製品販売増

2025年12月期第2四半期(中間期) 連結決算概要

(百万円)	2024年12月期 2Q実績		2025年12月期 2Q実績		増減額	増減率
		構成比		構成比		
売上高	26,044	100%	27,180	100%	+1,136	+4.4%
■ 化学品事業	19,186	73.7%	19,602	72.1%	+415	+2.2%
■ 化粧品事業	6,707	25.8%	7,337	27.0%	+630	+9.4%
その他	150	0.5%	240	0.9%	+90	+60.0%
営業利益 (営業利益率)	1,626 (6.2%)	-	1,935 (7.1%)	-	+309	+19.0%
■ 化学品事業(セグメント利益)	1,856	73.3%	2,106	71.1%	+250	+13.5%
■ 化粧品事業(セグメント利益)	675	26.7%	818	27.6%	+143	+21.2%
その他	△9	-	39	1.3%	+49	-
消去等	△895	-	△1,028	-	△133	-
経常利益	2,007	-	1,752	-	△255	△12.7%
親会社株主に帰属する中間純利益	1,217	-	997	-	△220	△18.1%

為替 ※期中平均 (カッコ内:前年同期比)	米ドル	中国元	ウォン	国産ナフサ (カッコ内:前年同期比)	1Q	2Q予想	3Q予想
	149.00円(2.2%円高)	(2.6%円高)	(7.7%円高)		73,400円(+1.2%)	65,600円(△17.1%)	63,600円(△17.3%)

経営指標の概要

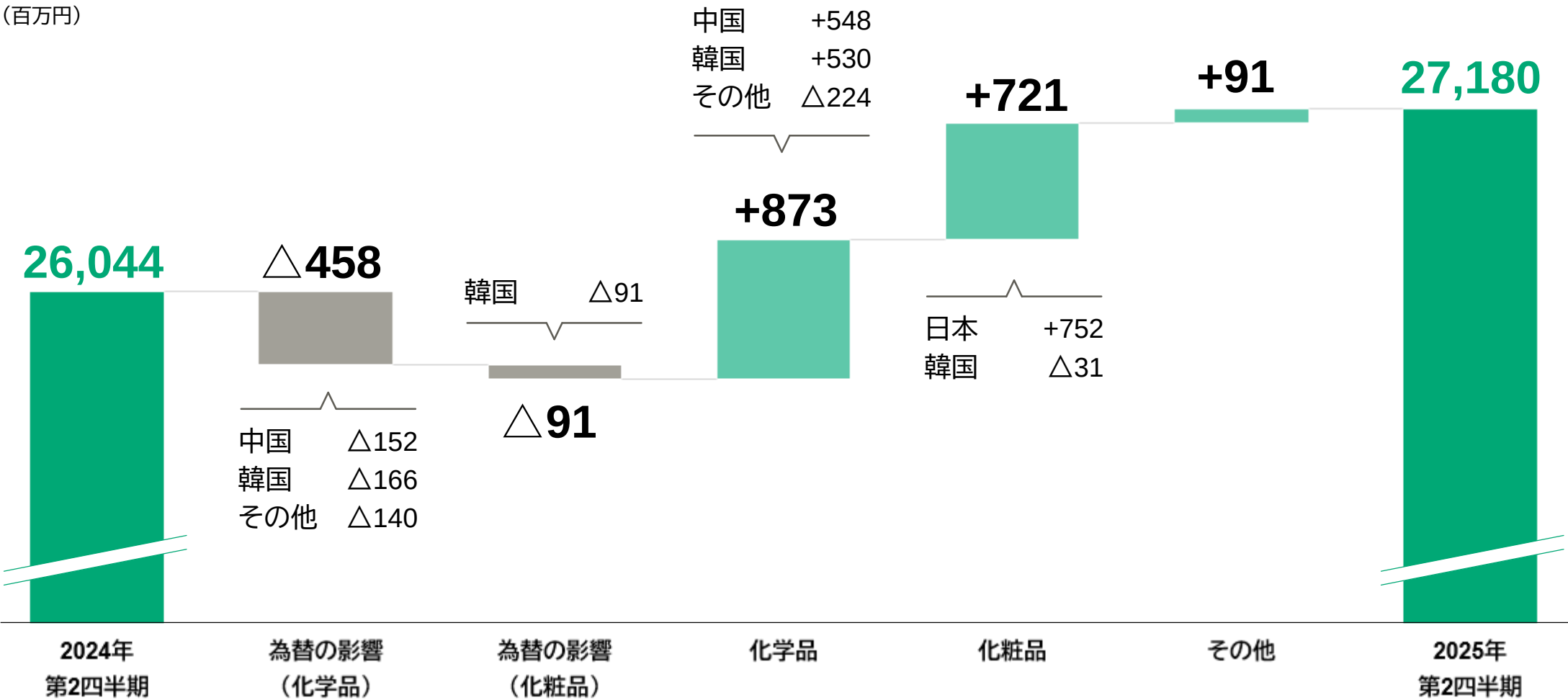
- ROA、ROIC、EBITDAは営業利益増加により向上、純利益減によりROEは減少
- 株価+17%(前年同期末比)によりPBRが向上

	2024年12月期 2Q実績	2025年12月期 2Q実績	増減額	増減率
(百万円)				
ROA	5.6%	6.1%	-	+0.5 pt
ROE	7.7%	6.0%	-	△1.7 pt
ROIC	5.5%	6.0%	-	+0.5 pt
PBR	0.54倍	0.61倍	-	+0.07 pt
EBITDA	2,713	2,980	+266	-
減価償却費	1,087	1,044	△43	-
年間配当(円)	52	60 (予定)		

連結売上高 増減要因(対前年)

- 為替の影響:化学品 △4.5億円 化粧品 △0.9億円
- 化学品 +8億円 化粧品 +7億円

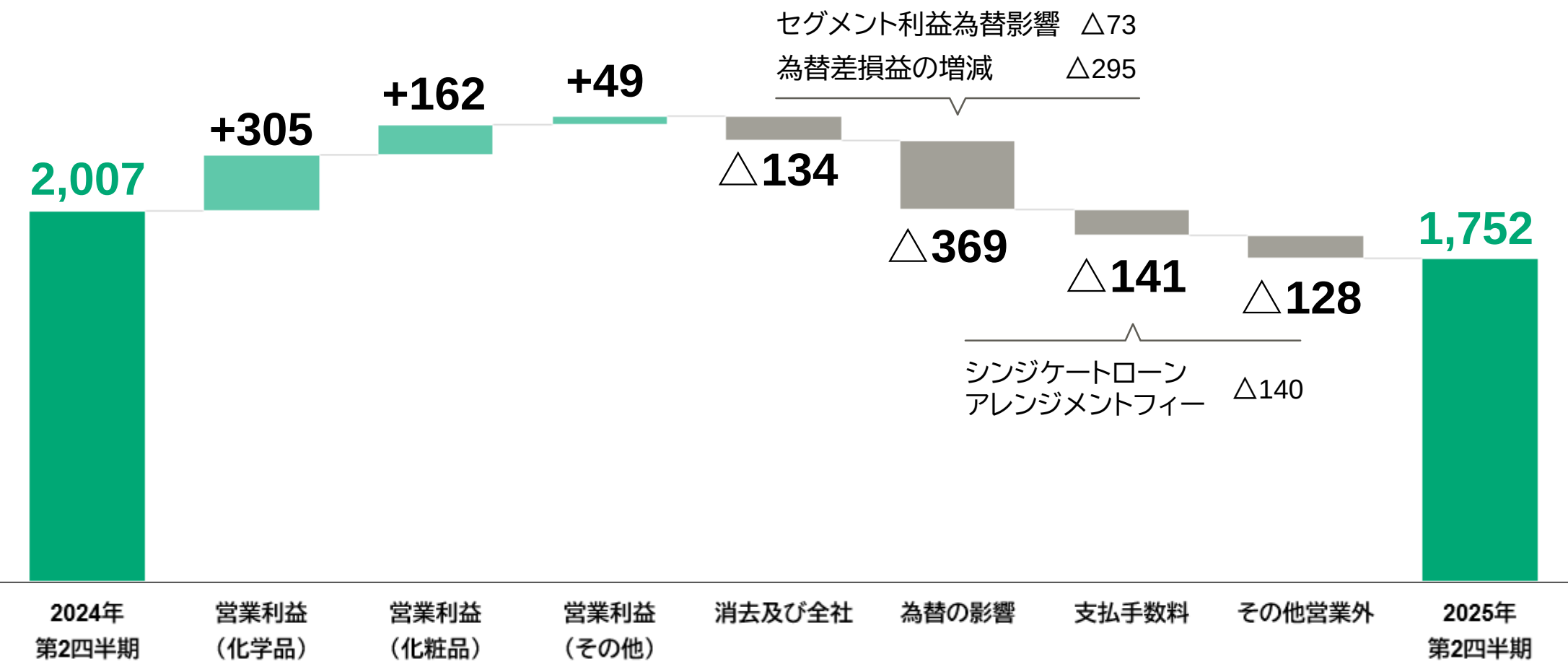
(百万円)



連結経常利益 増減要因(対前年)

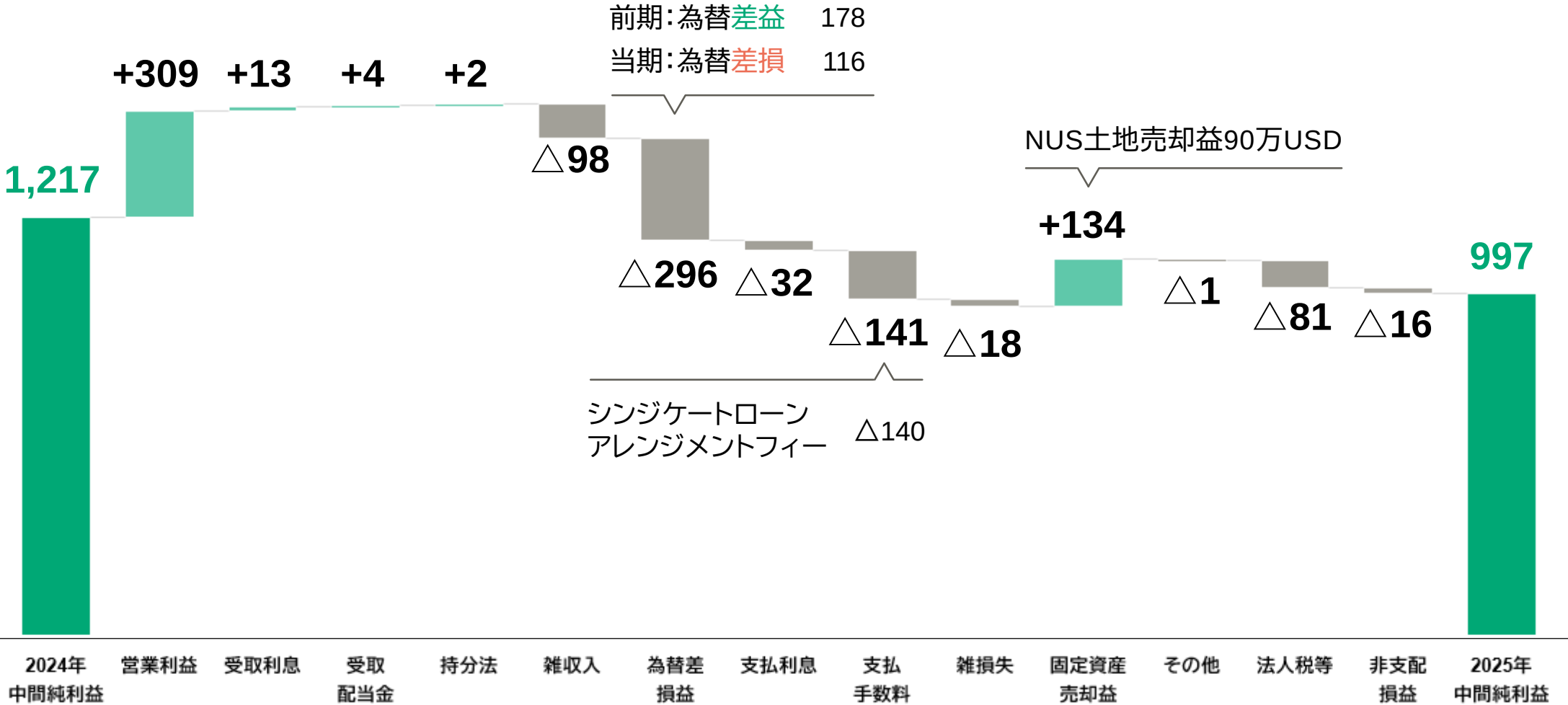
- 営業利益 化学品 +3億円 化粧品 +1.6億円
- 為替差損益の影響 為替期末日レート(\$) 24年12月158.17円→144.82円 13円円高

(百万円)



営業外損益/特別損益/税引後利益(対前年)

(百万円)



セグメント概要

化学品事業

- 創業以来培った繊維加工のトータルソリューション技術を幅広い市場に応用
- 2015年に大智化学産業を買収し、成長著しいデジタル分野にも展開



繊維加工用薬剤



クリーニング用薬剤



スペシャリティケミカル
(特殊化学品・機能化学品)



スペシャリティケミカル
(先端材料)

主要な 関係会社

- 大智化学産業株式会社(半導体産業向け)
- 日華化学(中国)有限公司
- NICCA KOREA CO., LTD. 他13社

化粧品事業

- 主力ブランド「DEMI」を中心とした、プロフェッショナル向け美容室専売品の研究開発
- お客様の声に耳を傾け、髪健康と美しさを追究



ヘアケア



スカルプケア



ヘアカラー



スタイリング

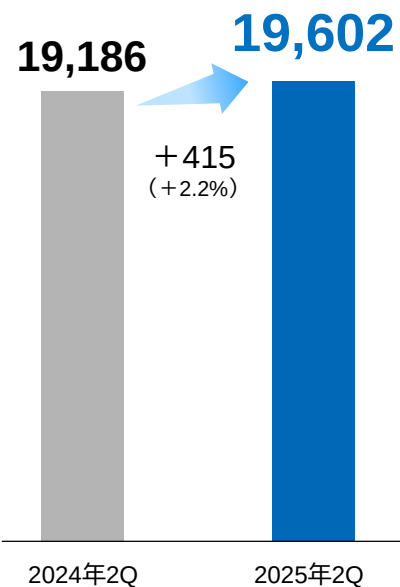
主要な 関係会社

- 山田製薬株式会社(化粧品OEM/ODM)
- イーラル株式会社
- DEMI KOREA CO., LTD. 他4社

- ・ EHD好調、中国・インド等伸長により、売上高、セグメント利益額・率ともに上期では過去最高

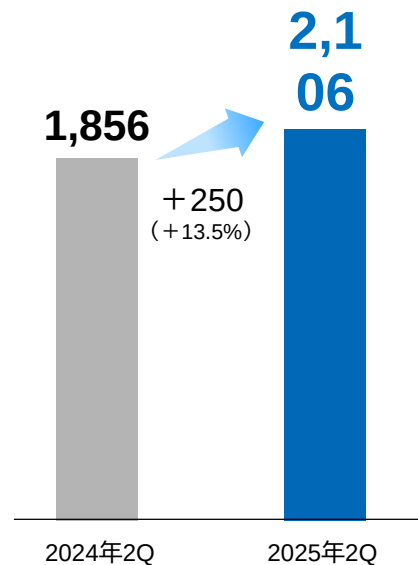
売上高

(百万円)



セグメント利益

(百万円)



主な増減要因

売上高

繊維化学品分野

- + EHD※関連製品販売 引き続き好調
フッ素フリー系撥水剤、環境配慮型工程薬剤など
- + 中国中心に海外大手繊維加工場の高稼働(～4月)
- 5月～トランプ関税の影響で海外繊維加工場稼働減速傾向
- + インドビジネス成長

電子材料関係分野

- + 半導体加工用クーラント剤回復途上(前年1Q低調)
- + 日本以外での新規ビジネス増加傾向

セグメント利益

- + EHD※関連製品(高付加価値品)売上高比率増
- 人件費増加

※ E(環境/Environment)、H(健康・衛生/Health)、D(デジタル、先端材料/Digital)向けの高付加価値製品

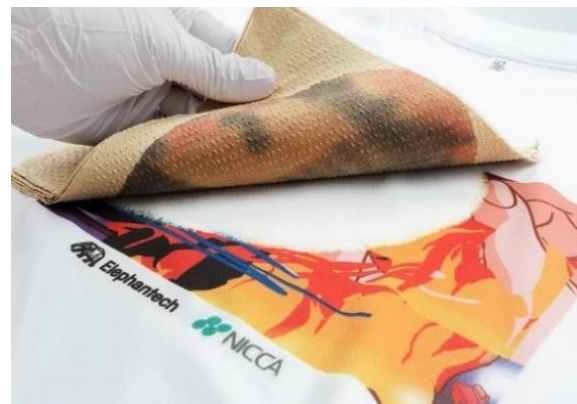
為替 ※期中平均 (カッコ内:前年同期比)	米ドル 149.00円 (2.2%円高)	中国元 (2.6%円高)	ウォン (7.7%円高)
国産ナフサ (カッコ内:前年同期比)	1Q 73,400円 (+1.2%)	2Q予想 65,600円 (△17.1%)	3Q予想 63,600円 (△17.3%)

施策	進捗状況／第2四半期(中間期)
成長・高収益事業への傾注 • EHDに紐づく新規ビジネス・新規エリアの獲得（EHD売上比率50%） • グループ一体となったグローバル拡販 • デジタル領域のグローバル展開と新規ビジネスの創出	• EHD関連製品売上高比率 2Qで45.0%（前年同期比+0.4pt） *EHD製品利益率 +10%〈従来製品比、24年12月期実績〉 • 新規ビジネス・エリア／新たな電子材料分野の取組開始、繊維加工薬剤でインド伸長 • グローバル拡販／フッ素フリー系撥水剤、環境配慮型工程薬剤 伸長継続 • デジタル領域グローバル展開／台湾、韓国中心に推進中
収益性向上 • 戦略的調達によるコストダウン（中国、インド、オレオ化学品） • マーケティング力とプライシング力の強化 • リスクマネジメント(為替、地政学)	• マーケティング力・プライシング力強化／一部価格改訂・原料代替取組中 • リスクマネジメント／トランプ関税による影響継続注視



TBS系SDGsプロジェクト「地球を笑顔にする広場」で 当社「ネオクロマト加工」のワークショップを実施

- ・ 2025年5月、TBS系SDGsプロジェクト「地球を笑顔にする広場 2025春」に参加(東京・赤坂サカスにて)
- ・ ハンドタオルを「ネオクロマト加工」技術で脱色し、自分の塗り絵をプリントしたオリジナルタオルとして生まれ変わらせるというワークショップを実施



大阪万博出展概要

日 時	2025年10月3日(日)～ 10日(金)期間内
エリア	大阪・関西万博EXPOメッセ内 日本弁理士会主催「ビジネス/ 技術アイデアコンテスト」  日本弁理士会サイト
内 容	ネオクロマト加工 技術体験会・ワークショップ

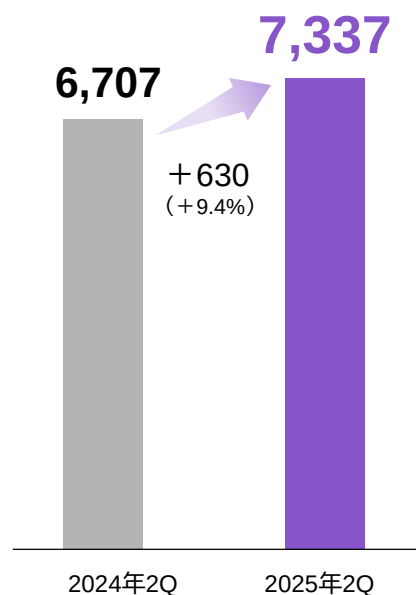
ネオクロマト加工とは

わずか数分で、水を一切使わずにポリエステル生地 of 染料を脱色できる技術
従来の抜染工程と比較して大幅な環境負荷削減を可能にし、ポリエステル生地の再利用・アップサイクルが可能

- ・ ODM事業好調、新商品・注力商品販売堅調、韓国市場専用ヘアケア販売増により増収・増益

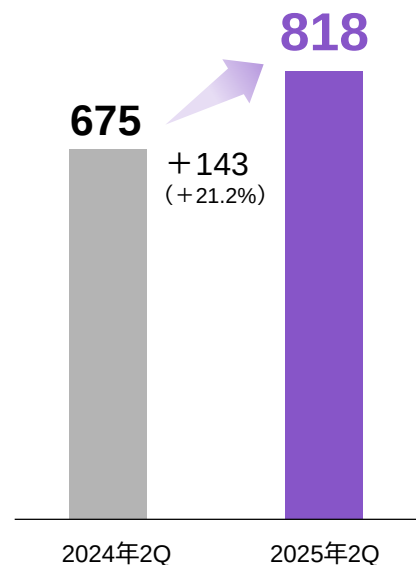
売上高

(百万円)



セグメント利益

(百万円)



主な増減要因

売上高

日華化学デミ コスメティクス(国内サロン向け)

- + 新商品、注力商品販売堅調(特にフローディアモアが好調)
国内美容サロン市場底打ち

山田製薬(国内ODM)

- + ODM事業好調
既存大口ODM受注減も、前年新規ODM(EC専業ヘアケア)受注大幅増

デミコリア

- + 韓国市場専用ヘアケア販売増加

セグメント利益

- + 売上増に伴う利益増
- 人件費増加

為替 ※期中平均
(カッコ内:前年同期比)米ドル
149.00円
(2.2%円高)中国元
(2.6%円高)ウォン
(7.7%円高)

国産ナフサ

(カッコ内:前年同期比)

1Q
73,400円
(+1.2%)2Q予想
65,600円
(△17.1%)3Q予想
63,600円
(△17.3%)

施策	進捗状況／第2四半期(中間期)
優良サロンの獲得 ・営業人員増強によるサロンサポート強化 ・DEMI LABOを起点としたユーザー認知と顧客獲得	 ・営業人員増員、新規サロン獲得・既存サロン顧客内シェア拡大に向けた活動を強化 ・オウンドメディア「DEMI LABO」PV数 25/1Q比で+25% ・トライアルEC購入者数 前年同期比+49%
新商品によるサロン内シェアアップ ・新ブランド「サマーバー」、「DEMI DO」追加品	 ・ヘアケア／サマーバー 堅調に推移(前年同期ハレマオ比+46%) ・DEMI DO 追加品 予定通り7月15日発売
デミコリア／店販を基軸にシェア拡大	 ・ヘアケア売上 +22%(韓国経済後退の中、デミコリア健闘)
化粧品新工場建設開始	 ・予定通り進捗



デミ コスメティクスより、夏限定の新ブランド 「SUMMER BAR」(サマーバー)新発売

- ・ 猛暑が続く夏に提案する「クール」を追求したサマーブランド
- ・ 髪と肌両方に使用 & 紫外線をしっかりカットするUVケアと、新境地のクール感を体験できるヘアケアアイテム
- ・ 属性年代問わず、紫外線ダメージと夏のべたつきが気になるすべての方向け

UVケア 2品



2025年2月19日発売

- ・ SPF50+、PA++++、UV耐水性★★で紫外線をしっかりカット
- ・ 髪&肌両用、質感が選べるスプレーとミストタイプ
- ・ ヘアカラーをキレイに見せるブドウ種子エキス(保湿成分)配合

クールヘアケア 12品



2025年4月2日発売

- ・ ベタつき、ニオイをシャキッと洗い流すクールシャンプー
- ・ 新境地のクール感を体感できるトリートメント
- ・ 夏の頭皮と髪にうるおいをチャージ



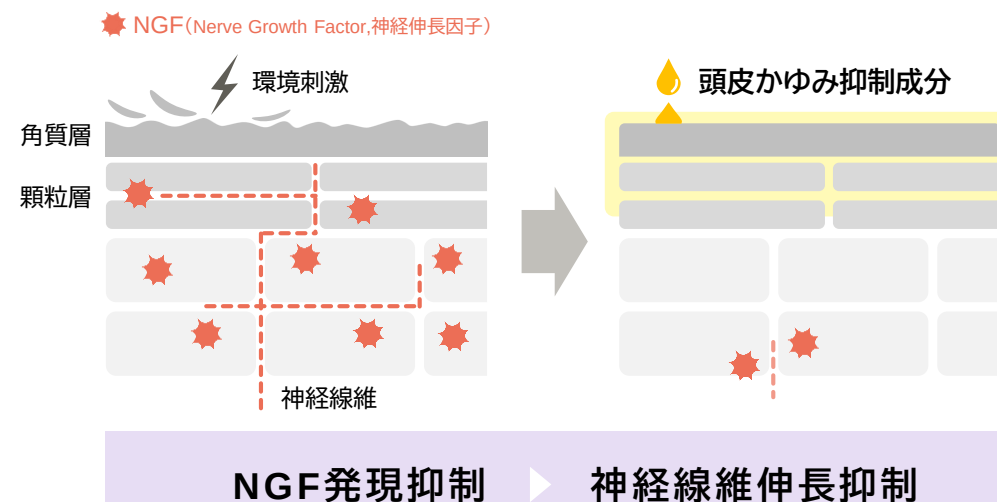
デミ コスメティクスが、頭皮かゆみを抑制する成分を発見

- 2025年6月、メカブ抽出物・ヒジキ抽出物・納豆抽出物の混合物に頭皮のかゆみを抑制する効果があることを発見
- これらの組合せ成分を配合した多くの頭皮悩みを抱える人々に向けたスカルプケア商品の開発を目指す

本研究のポイント

1. 紫外線を浴びたり、頭皮の乾燥、花粉などによって、頭皮の細胞がNGF（神経成長因子）という物質を多く作り出し、そのNGFがかゆみを感じる神経を頭皮表面に伸ばしてしまうことでかゆみを感じやすくなることに着目
2. NGFの発現を抑える成分を調べ、そのかゆみ抑制効果を検証
3. メカブ抽出物・ヒジキ抽出物・納豆抽出物の混合物がNGF発現を抑制し、頭皮のかゆみを抑制する効果があることを発見

環境刺激に対する機能性成分の組み合わせによる NGF発現抑制イメージ



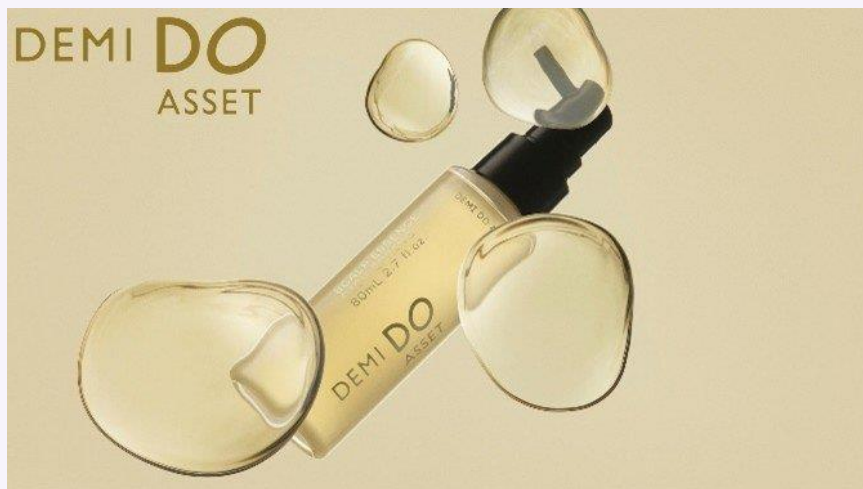


デミ コスメティクスより、女性のエイジングに特化した新ライン 「DEMI DO ASSET(デミドゥ アセット)」新発売

- ・スカルプケアブランド「DEMI DO(デミドゥ)」から、女性のエイジングによる多面的なお悩みにアプローチする新ラインが誕生(2025年7月15日発売)

頭皮用エッセンス

頭皮環境を整え、ハリのある頭皮とうるおいのある美しい髪へ導きます



スパ&システムトリートメント(美容技術者専用)

地肌と髪をうるおいに浸してまるごとパックする至極のサロンスパ





化粧品新工場 投資資金のため シンジケートローン契約を締結

- ・ 2025年5月1日、化粧品新工場建設にかかる資金調達を目的に、財務上の特約が付されたシンジケートローン契約を締結

化粧品新工場 設備投資の概要

投資規模	約195億円	本格稼働	2027年
補助金上限額*1*2	49億 9,991万円(補助率1/3)	建設予定地	福井県福井市稲津町・荒木新保町

シンジケートローンの概要

金額	総額140億円（コミットメント期間付きタームローン120億円／タームローン20億円）		
アレンジャー	福井銀行	最終返済期日	2042年2月28日
参加金融機関	福井銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行		
備考	コミットメント期間付きタームローン／ 一定期間、借入限度額を上限に必要時に資金調達を行い、一定期間経過後は借入残額につき、 契約上の返済条件に従い長期弁済を行う形式の貸出形態		



※1 現時点での予定

補助金交付額は補助対象事業完了後の検査等結果により変動可能性あり

※2 補助事業名称: 中堅・中小企業の質上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金)

対象経費: 建物、設備費、およびシステム購入費等

対象事業完了時期: 2026年12月



社員報酬制度の拡充

- ・賃金上昇と採用競争の激化が進む中、2024年に引き続き、2025年も賃金アップを実施
- ・社員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブの導入(自己株式の処分)

報酬制度改定

新卒初任給

約**10%アップ**
(2024年比)

1人当たり報酬

5%アップ
(2024年比)



社員向け譲渡制限付き株式インセンティブ制度導入

■ 制度の概要

対象	社員持株会に加入する当社グループの経営職層社員のうち、本制度に同意する者
目的	社員の資産形成の一助とすることに加え、当社の株主との一層の価値共有を目指すインセンティブを与えることで、当社経営職層社員の経営参画意識をより一層高め、当社の企業価値向上を図る

■ 自己株式処分の概要

期日	2025年7月28日	株式の種類及び数	当社普通株式 51,964株
価格	1,320円/株	総額	68.5百万円



スポンサードリサーチレポートを発行 (ストラテジー・アドバイザーズ 作成)

- 2025年7月、投資家の皆様との円滑なコミュニケーションを図るとともに、当社への理解を一層深めていただくことを目的に、スポンサードリサーチレポートを発行
- 今後は四半期決算ごとにフォローアップレポートを発行予定

レポートの主な内容(全55ページ)

- 当社のビジネスモデル
- 事業戦略
- 成長戦略
- 企業DNA
- 模倣困難性
- 業績推移 など

本レポートにつきましては、こちらよりご参照ください

[4463_NICCA-CHEMICAL_Initiation_JP_FINAL.pdf](#)



※画像はレポートの一部抜粋

連結貸借対照表

(百万円)	2024年12月期 期末	2025年12月期 2Q末	増減額	
資産	62,366	64,772	+2,406	(主な増減要因) • 売掛債権 △1,205 • 建物及び構築物(純額) △472 • 建設仮 +4,329
流動資産	34,221	32,994	△1,227	
固定資産	28,144	31,777	+3,633	
負債	25,812	29,168	+3,355	(主な増減要因) • 借入金 +3,568
流動負債	17,143	18,694	+1,551	
固定負債	8,668	10,473	+1,804	
純資産	36,553	35,604	△949	(主な増減要因) • 利益剰余金 +569 • 為替換算調整勘定 △893 • 退職給付に係る調整累計額 △479
負債純資産合計	62,366	64,772	+2,406	
自己資本比率	54.0%	50.5%	△3.5pt	
有利子負債	9,902	13,470	+3,568	

連結キャッシュフロー

- 営業CF：+22億円(収入) EBITDA 29億円、運転資本増3億円、法人税支払6億円
- 投資CF：△45億円(支出) 固定資産取得による支出51億円
- 財務CF：+29億円(収入) 借入金増34億円、配当金支払5億円

(百万円)	2024年12月期 2Q実績	2025年12月期 2Q実績	増減額
営業CF	2,175	2,268	+93
投資CF	△1,512	△4,528	△3,016
財務CF	△1,299	2,910	+4,210
期末現預金残高	9,213	10,617	+1,404

02

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について(アップデート)

2035年 中長期グループ成長シナリオ

- 2024年7月に「中長期グループ成長シナリオ～資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について～」を策定
- 次期中期経営計画は、2026年2月に公表予定

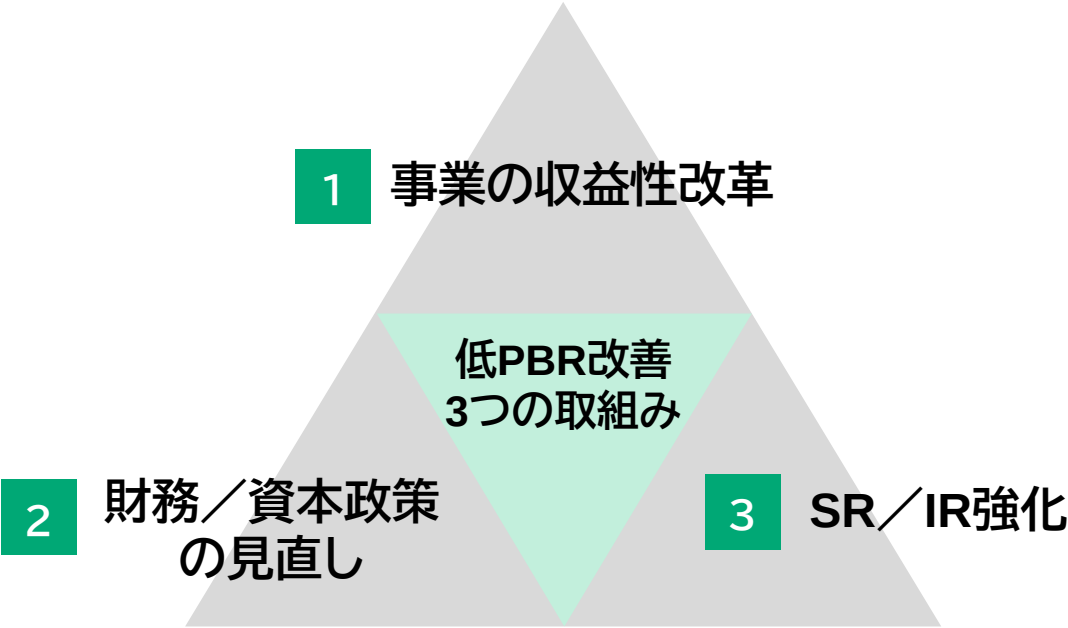
2035年までに目指したい姿（現状2024年）

売上・利益面での成長に加え、
「ROE＝安定的に10%以上」を重点目標とし
株主還元策と併せて投資家の皆様の期待に応えて行く

重点目標	ROE＝安定的に10%以上		
売上高	750億円（540億円）	規模より事業PF変革を重視	
営業利益率	10%以上（6.5%）	高付加価値事業に傾注	
ROE	10%以上（8.6%）	株主資本コスト*1を安定的に上回る	
ROIC	8%以上（5.8%）	WACC*2を安定的に上回る	
DOE	3%以上（2.5%）	2～3年以内に達成を目指す	
PBR	1倍以上（0.57倍）	早期達成を目指す	

低PBR改善に向けた取り組みの基本方針

3つの大きな施策に取り組む



※1 当社の株主資本コストは約8%と推定 ※2 現状のWACCは約6%と推定、負債コストは今後上昇すると想定

取り組み方針と進捗状況

取り組み（2024年7月公表時より変更なし）	進捗状況
1. 事業の収益性改革 - 高収益×成長領域への集中と積極投資 - 化粧品事業拡大・更なる収益性向上のための新工場建設 - 化学品事業EHD集中戦略の継続推進 - 低収益事業の見直し	- 化粧品事業の拡大 －新工場 2025年4月着工 - EHD集中戦略の推進による利益率向上 －EHD売上高比率 2019年30%→2025年上期45% －営業利益率 2019年3.0%→2025年6.5%
2. 財務／資本政策の見直し - 自己資本のコントロール - 財務レバレッジを効かせる - WACCの最適化 - 不要資産の整理・圧縮	- 財務レバレッジを効かせた成長投資 －シンジケートローン組成(140億円) - 不要資産の整理・圧縮 －NICCA USAでの土地売却
3. SR／IR強化 - 株主還元方針の見直し －安定配当方針に加えDOE目標を導入 - 株主及び投資家との対話強化	1株当たり年間配当金 －2019年16円→2025年予想60円 - 個人投資家向け会社説明会を充実 他

03

2025年12月期 通期

業績・配当予想

2025年12月期通期 連結業績予想

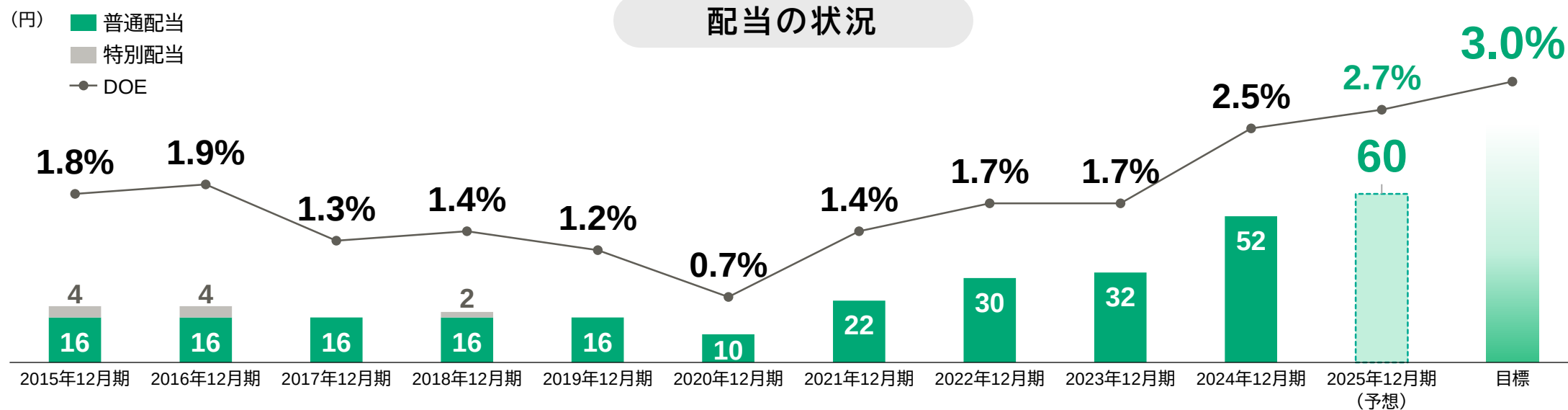
- 当期上期の業績状況、及び下期における為替予想を見直したこと等から、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想に対し減少となる見込み
- 通期配当予想は60円で変わらず

		(2月14日時点)		(7月31日時点)		
	(百万円)	2024年12月期 実績	2025年12月期 予想(当初)	2025年12月期 予想(修正)	増減額 (当初予想比)	増減率 (前期比)
売上高		54,099	57,000	57,000	-	+2,901 +5.4%
■ 化学品事業		39,378	41,500	41,500	-	+2,122 +5.4%
■ 化粧品事業		14,271	14,700	14,700	-	+429 +3.0%
その他		449	800	800	-	+351 -
営業利益		3,519	3,600	3,600	-	+81 +2.3%
(営業利益率)		(6.5%)	(6.3%)	(6.3%)	-	
■ 化学品事業(セグメント利益)		3,724	3,770	3,770	-	+46 +1.2%
■ 化粧品事業(セグメント利益)		1,822	1,840	1,840	-	+18 +1.0%
その他		58	60	60	-	+2 -
消去等		△2,085	△2,070	△2,070	-	+15 -
経常利益		3,976	3,700	3,400	△300	△576 △14.5%
親会社株主に帰属する当期純利益		2,754	2,600	2,400	△200	△354 △12.9%
為替(米ドル)	修正前 150円	修正後 147円	国産ナフサ	上期 73,200円	下期 65,600円	

株主還元方針

- 2025年12月期通期配当予想は60円(前年同期比+8円)、DOE2.7%(同+0.3ポイント)で5期連続増配
早期のDOE3.0%を目指す

	変更前	変更後(2024年7月31日)
基本方針	安定配当	安定配当 + 累進配当
目標水準	配当性向30%を目安	2~3年以内にDOE3%を目指し、 その後も高めることを継続検討



04

Appendix

財務データ等推移

(百万円)

項目	2015/2Q	2016/2Q	2017/2Q	2018/2Q	2019/2Q	2020/2Q	2021/2Q	2022/2Q	2023/2Q	2024/2Q	2025/2Q
売上高	21,999	20,966	23,414	24,752	23,649	19,753	24,100	24,917	24,306	26,044	27,180
EBITDA のれん償却額反映	2,424	1,722	1,999	2,180	1,703	1,678	2,654	2,566	1,533	2,713	2,979
(EBITDA率)	11.0%	8.2%	8.5%	8.8%	7.2%	8.5%	11.0%	10.3%	6.3%	10.4%	11.0%
減価償却費 のれん償却額含む	935	840	923	967	933	1,339	1,241	1,180	1,101	1,087	1,044
営業利益	1,489	882	1,076	1,213	770	339	1,413	1,386	432	1,626	1,935
(営業利益率)	6.8%	4.2%	4.6%	4.9%	3.3%	1.7%	5.9%	5.6%	1.8%	6.2%	7.1%
経常利益	1,632	831	1,099	1,266	681	470	1,596	1,823	766	2,007	1,752
親会社株主に帰属する中間純利益	993	402	571	1,829	329	175	1,583	1,058	285	1,217	997
1株当中間純利益(円)	58.27	25.64	36.45	116.58	20.95	11.17	100.59	67.14	18.06	77.01	62.93
配当金(円)	8	10	8	8	8	4	8	11	16	25	30
自己資本比率	39.3%	35.7%	34.7%	35.7%	37.0%	37.6%	44.7%	48.7%	52.4%	55.1%	50.5%
ROE	10.5%	4.7%	6.7%	18.9%	3.3%	1.8%	14.2%	8.0%	2.0%	7.7%	6.0%
ROA	6.7%	3.8%	4.3%	4.4%	2.8%	1.3%	5.3%	5.0%	1.5%	5.6%	6.1%
研究開発費	1,010	1,061	986	1,085	1,022	982	1,062	1,083	1,136	1,223	1,296
従業員数(人)	1,359	1,444	1,455	1,490	1,514	1,503	1,472	1,469	1,508	1,529	1,554

※ は「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準 第29号)等適用によりそれ以前とは基準が異なる項目

会社概要

商 号	日華化学株式会社(証券コード 4463)
本 社	福井県福井市文京4丁目23-1
創 立	1941(昭和16)年9月15日
資 本 金	28億9,854万円
発行済株式数	1,771万株
決 算 期	12月31日
従 業 員 数	連結／1,554名 単体／609名(2025年6月30日現在)
事 業 内 容	繊維を主とする各種産業用界面活性剤 および化学品、化粧品等の製造・販売
上場証券取引所	東証スタンダード、名証プレミア



輝け、カガクで。

Activate Your Life

お問い合わせ先

日華化学株式会社 IR担当

 (0776)25-8584(直通)

 ir@niccachemical.com

この資料には、2025年7月31日時点の将来に対する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。

経済情勢の変動などに伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。